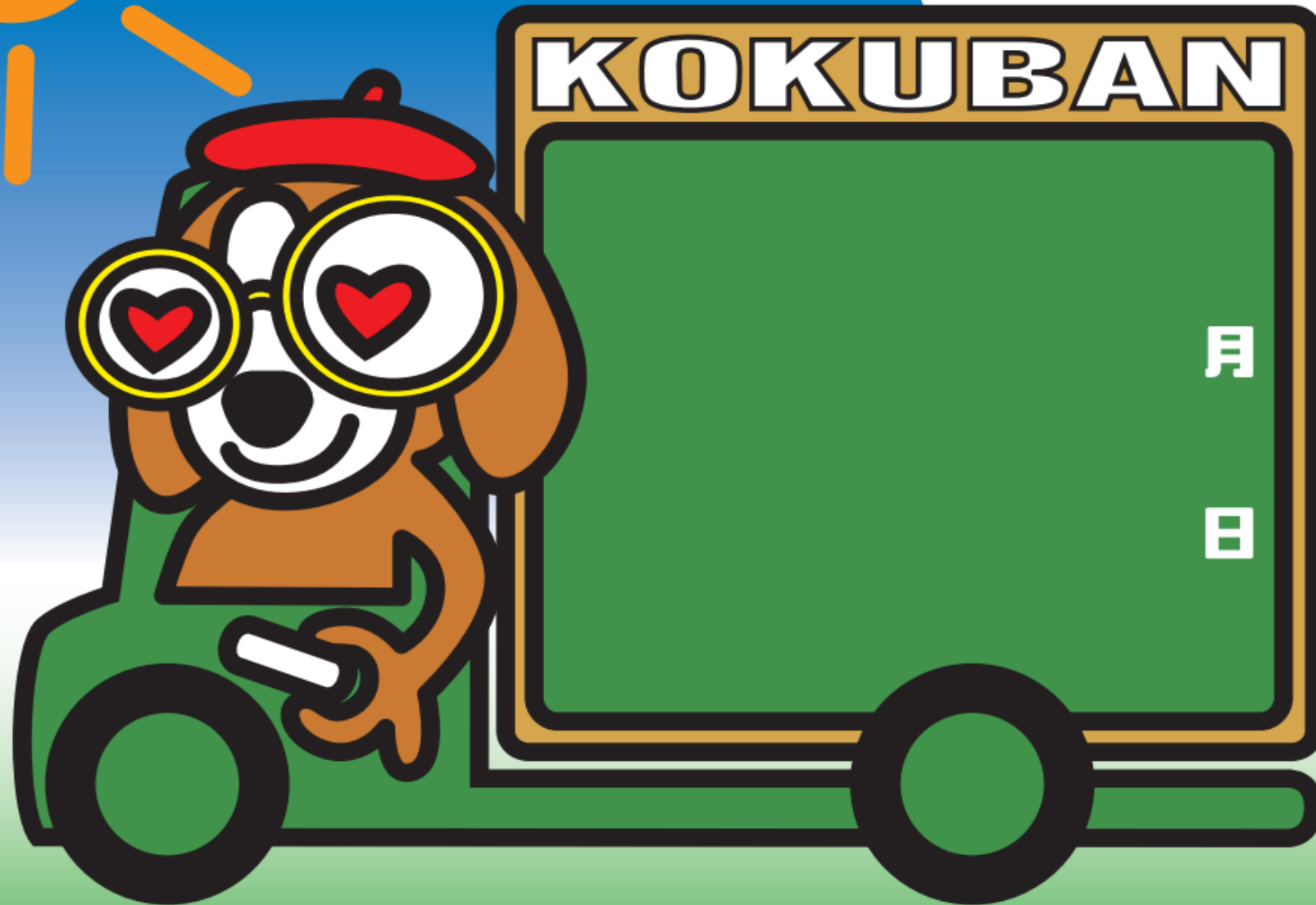


#こくばんくるま

佐原自動車





こくばんくるまについて



小さな町からの発信



株式会社佐原自動車では
人口減少・少子高齢化地域である
栃木県那珂川町の活性化と
子どもたちの笑顔と
夢に向けた発信を目指し
『こくばんくるま』事業を
行っています





走る『こくばんくるま』は
様々なイベントへの出展依頼も
承っています



烏山観光協会 様
Kawasaki メグロ看板除幕式





道の駅ばとう様
栃木県警 交通安全啓発イベント



ジュンクラシックカントリークラブ様
アウトレットセール





社会福祉法人 同愛会 様
バリアフリー温泉宿 なかが和苑
&
バイクカフェ BATOWL Cafe





納車・出展実績





トヨタ輸送株式会社本社様



米国トヨタ カムリハイブリッド 世界大会競技車両 納車





出所：
トヨタ輸送ホームページより



信楽伝統産業会館 様



展示車両 ダイハツ ミゼット 納車



出所：
NHKドラマ ホームページより



アフタースクールこそだての家 様



トヨタ コースター
(マイクロバス)
利用者送迎用
こくばんバス 納車



2022年(令和4年)1月20日 木曜日

子どもに生き抜く力

アフタースクールを開設

小林 力さん(39)

ひと
きらり



プロサッカーコーチから転身し、アフタースクールを開設した。「子どもの選択を大切に、生き抜く力を育む場をつくりたい」と力を込める。東京都出身。3歳の頃からサッカーに夢中になり、プロを目指した。16歳で左膝を負傷したことが転機になり、コーチの道を志した。20歳から本格的に指導者として活動を開始し、海外のプロ選手から

U-15に所属するプロの卵の子どもたちまで、幅広い選手の育成に携わった。「人の成長に影響を与えるものは『周回の人との関わり』と『体験』だと痛感した」と振り返る。「コーチとして経験を積む中で子どもの成長に本質的に関わりたくなった」と語る。「サッカーだけの範囲じゃなくともいいんじゃないか」と思い立ち、36歳で一念発起して転職、プロジェクトマネージメント企業で経験を積みつつ、子どもの育成に貢献できる場づくりを立ち上げようと、家庭体験教育を学んだ。

「考えに共感して一緒に場を作ってくれる大人の人も募集している」。子どもを見守る輪を広げたい考えた。つくば市在住。(成田愛)

現在、クラウドファンディング(CFD)で送迎に利用するバスの購入費を募る。バスは、黒板塗料で塗装し、子どもたちにチョークで模様を描いてもらう「こくばんバス」にする考えだ。



代表 小林 力氏
元ジュビロ磐田コーチ

令和4年1月20日(木)
茨城新聞 掲載記事

出所：
こそだての家
クラウドファンディングページより





ブラジルコーヒー商会 様



イベント販売車両
こくばん軽トラ 納車





2022年11月24日 (木)



下野新聞
SOON
Maebashi Original Online News

新聞購読 電子版 印刷

中沢市・小沢市 会社案内 広告案内 採用案内

速報 事件事故 地域の話題 スポーツ 社会 政治行政 経済 コラム 特集 全国

トピックス 大規模な火災 紅葉めぐり 埼玉大会 道の駅 埼玉の十人 埼玉の未来 社会・経済情報

HOME / 下野新聞「SOON」ニュース / 経済

チョークで書き込める車貸します 飲食店支援へ、宇都宮のブラジルコーヒー商会

11/23 12:00

企業情報

ツイート 3 エア 3 LINE 3



チョークで文字や絵を書くことができる貸し出し用の車両＝宇都宮市

業務用コーヒー卸売業のブラジルコーヒー商会（宇都宮市東堀田1丁目、永島一正（ながしまかずまさ）社長）は25日までに、新型コロナウイルス禍で打撃を受けた取引先の飲食事業者を支援するため、イベント出店時などに使える貸し出し用の車両を導入した。商品の陳列棚を設け、車体の側面はチョークで書き込めるよう加工した。

関連ニュース

昭和レトロカフェ11月復活 人気メニューのレシビ販売 贈答券試行支援「茶屋」

コロナ禍で同社の主な顧客である飲食店は休業などを余儀なくされ来店客は減り、打撃を受けている。これまで中止が続いていた各種イベントが相次いで再開する中、事業者のイベント参加を促し、経営回復への足がかりにしておこうと車の貸し出しを企画した。

車の準備は、自動車整備の佐原自動車（那珂川町小川）の佐原忠典（さわたただのり）専務と、業務用厨房（ちゅうぼう）設備の旭産業（宇都宮市砥上町）の大前恒太郎（おおまえこうたろう）社長が協力した。黒板をイメージした緑色の側面は、チョークで書き込めば、水拭きで簡単に消すことができる。両台にはスライドする特注の棚を設けた。永島社長らは「自由な発想で使い方を考えてほしい」と結んでいる。

レンタル料はブラジルコーヒー商会の法人顧客が1週間1万円。顧客以外は個別に相談する。（間）同社028・622・0661。



令和4年10月26日（水）
下野新聞 掲載記事

こくばんくるま





日本理化学工業株式会社 様



「キットパス」で自由に描けるキットパス号 納車



代表取締役社長
大山 隆久 氏



出所：
日本理化学工業 ホームページより

(1) 2022年(令和4年)12月5日

いろいろよう
～わらべ～



価格小売価格 ¥440 送料別 ¥400

Shachihata

旬刊 ステイショナー

STATIONER CO.,LTD.

URL
www.stationer.co.jp/

E-mail
info@stationer.co.jp

The Stationery & Office Products News

旬刊 ステイショナー

「キットパス号」全国へ

薬がき「できるスペシアルカー」

日本理化学から11月11日誕生

「キットパス」を模した車、全国に登場。子どもたちが、自由に、思い思いに描き、楽しむ。そして、自分たちの思いを、全国に届ける。この「キットパス号」は、子どもたちの思いを、全国に届ける。この「キットパス号」は、子どもたちの思いを、全国に届ける。







出所：
旬刊ステイショナーより





おぎやはぎの愛車遍歴 様



番組撮影協力車両搬入



出所：BS日テレ番組ホームページより







その他



こくばん軽トラック



こくばんボンネット



こくばんスクーター





『こくばんくるま』の目的地





ワクワクの可能性は無限大

『こくばんくるま』は
ラクガキだけじゃない
誰もが楽しめる自由な表現を目指して
ぬり絵やお絵かき体験なども
おこなっています





イベント出展以外でも
自然体験教室などの
ファシリテーションや
チームビルディング等にも
ご活用いただけます

研修会や広告
あるいは結婚式など
様々な用途も可能です





社会福祉施設との連携を通して
障害者の余暇支援や
社会参加・自己実現などの
機会の提供にも寄与しています





イベントなどに使用している
机と椅子は廃校となった
代表の母校である小学校より



寄贈いただいたものを
利活用しています





走る黒板・動く黒板
『こくばんくるま』で
子どもも大人も
『ワクワク』に





『こくばんくるま』

TAROUは
みんなの街を
走ります







『こくばんくるま』
HANAKOは
道の駅・スーパーマーケット
カフェなどに移動停車
皆様に『ワクワク』を
届けております







商標について

『こくばんくるま®』ならびに
『コクバンカー®』は
株式会社佐原自動車の
商標または登録商標です

『こくばんくるま』登録第6393621号
『こくばんくるま』登録第6547120号
『コクバンカー』登録第6559383号





SNSのご紹介



Instagram

こくばんくるま 公式

『今日は何の日!! チョークアートで毎日更新中!!』

☺️地元企業のレギュラーメンバーによる発信



YouTube

SAWARAチャンネル

『こくばんくるま』毎月のラクガキ紹介





こくばんアーティスト



大人も子供も

大笑い 😄
こくばんくるま



小さな町の元気なレギュラーメンバー



こくばんアーティストご紹介





こくばんくるま 代表

佐原 忠典 Tadanori Sawara

那珂川町のくるまやさん

新車・中古車はもちろん、
輸入車やキャンピングカーの販売
メンテナンス、バイクやクラシックカーなども
取扱っています。

楽しいこと大好きな
みんなのムードメーカー。





吉成 孝夫 Takao Yoshinari

那珂川町内のゴルフ場
(ジュンクラシックカントリークラブ) の
フロントマネジャー

アパレルメーカーならではの面白い発想と
センス溢れる秀逸なチョークアートで
こくばんくるまを盛り上げてくれます！



久保 裕史 Hirohumi Kubo

那珂川町内のガソリンスタンド経営者

那珂川町を発信すべくデザイン
販売しているオリジナルグッズや
ウェアは町のイベント等で
愛用されています。





中村 郁夫 Ikuo Nakamura

那珂川町内のキャンプ場
(サンタヒルズ) の経営者

1 年中クリスマスムードが漂う
遊び心溢れるキャンプ場は
芸能人の利用も多く
テレビのロケ地にも選ばれています。



渡辺 容子 Yoko Watanabe

サンタヒルズ内にある
Café + Gallery Komorebiのオーナー

ギャラリーには、手作り作家の作品や
自ら創作した衣服も展示・販売
カフェでは身体に優しい
お料理を提供しています。





鈴木 雅仁 Masahito Suzuki

那珂川町内の建設会社
(鈴木建設) 社長

デザインを学んだ経験を活かし、
町内に『どこでもドア』を設置。
ともに地域活性化の一躍を
担ってくれています。



金子 創一 Souichi Kaneko

那珂川町内の衣料品店
(ミカワヤ) の社長

高齢化の顕著な町内にて丁寧な接客、
出張販売など、お客様に優しい
お店作りをしています。
♪『こくばんくるま』
作詞作曲者でもあります。





菊地 月香 Ragika Kikuchi

那珂川町内で温泉宿「なかが和苑」
バイクカフェBATOWL Caféを運営する
社会福祉法人同愛会の理事長

県内で社会福祉施設を運営
利用者さんのアクティビティとして、
チョークアートを
一緒に楽しんでいます。

© 2016 こくばんくるま



稲沢 行生 Yukio Inazawa

那珂川町内の床屋さんのオーナー

女性も通える理髪店として
多角的な視点で店舗を経営

家族みんなで、
こくばんアートを
盛り上げてくれています。





山田 美穂 Miho Yamada

茨城県在住の市民活動家

土浦市のチンドン屋さんのイベント
「つちうら♪♪駄菓子屋楽校」にて
「絵が好きです！」と声掛けてくれたことが
きっかけでメンバー入り。



磯野 勇 Isamu Isono

那珂川町内のカフェ
(Lighten up and Switch 136) オーナー

地元での開業という夢を実現
那珂川町の雄大な
大自然を眺める場所で
地元産、国産食材を用いた
料理を提供しています。







『ワクワク』してる？



お問い合わせ先

〒324-0501

栃木県那須郡那珂川町小川3291-4

株式会社 佐原自動車

佐原 忠典

Tadanori Sawara



